



校長だより

日中丸



第31号
H30. 2. 16

日間賀中学校長
鈴木 康弘

3年生 愛校作業 2.15(木)

卒業を控えた3年生が愛校作業を行いました。「3年間お世話になった中学校への感謝の気持ちを表す」ことをねらいとして取り組みました。当日は、一人一人が真剣に取り組みました。きれいになった体育館や2階の廊下からは、感謝の気持ちが十分に伝わってきました。また一つ、3年生のすてきな姿を見つけられました。

3年生の皆さん、ありがとう。



3年生 保育所訪問 2.14(水)

3年生が保育所を訪問し、自分たちで考えた遊びを通して、楽しく触れ合うことができました。家庭科の学習の一環で、「幼児に関心をもち、幼児の心身の発達と生活、それを支える家族の役割や遊びの意義について理解し、幼児との関わり方を工夫できるようにすること」をねらいとした学習です。普段の学校生活では見ることのできない姿をたくさん見ることができました。



学校評議員会 2.6(火)

小学校と合同で、学校評議員会を開催しました。学校評議員制度は、学校と家庭や地域とが連携協力して一体となって子どもたちの健やかな成長を図り、より一層地域に開かれた学校づくりを推進していくためのものです。中学校の授業参観の後、小学校と中学校のそれぞれの学校運営等についての貴重なご意見をいただきました。いただいたご意見をもとに、よりよい学校づくりを進めたいと思います。



朝会より 2.5(月)

生徒発表（2月のテーマ：1年を振り返って）

大田峻慎さん（1年）

僕が1年を振り返って思うことは、とても成長できた1年だったということです。

なぜかという、僕は入学して間もないころ、あいさつもあまりできないし声もあまり出なかったのに、出せるようになったからです。行事などいろいろなことがあって時間が過ぎていくうちに、だんだんと声が自然に出たりあいさつも大きな声でできたりするようになりました。

また、部活動では、入学したばかりのときは、あまり上手くできなくて悔しい気持ちでいっぱいでした。でも、先生や先輩の方々にいろいろ教えてもらって、だんだんとできるようになりました。とても楽しい1年でした。

校長の話

こんな話をしました。

今週の金曜日、2月9日から平昌オリンピックが始まります。その開会式で日本の選手団の旗手を務めるのは、葛西紀明（かさい のりあき）選手です。葛西選手はスキージャンプの選手で、45歳、8度目のオリンピック出場を果たしました。スキージャンプ界では、「レジェンド」と呼ばれています。前回のソチオリンピックでは個人で銀メダル、団体戦で銅メダルを獲得しました。41歳での獲得でした。普通の選手ならここで引退してしまいそうですが、葛西選手は、4年後を目指して練習に励んできました。今は、金メダルしか狙っていないそうです。そのために、体力的にはきつい年齢であるのに懸命に練習してきたそうです。私にはとても真似できません。しかし、葛西選手は、目標を決めたからには、結果がどうであれやり切るという強い意志をもっています。それが8回のオリンピック出場というすごいことをやってのけ、「レジェンド」と呼ばれる理由だと思います。同じことはできませんが、葛西選手を見習って、目標を決めたからにはやり切るという強い意志をもちたいと思います。

金曜日からは始まるオリンピックで、葛西選手をはじめとする日本選手の活躍を楽しみにしたいと思います。

